

外務省事業 JENESYS^{2.0} 韓国青年訪日研修団受入れ事業特集

～安芸太田町最大の資源【人情深さ】が韓国の学生たちの心を揺さぶりました!!～
韓国人学生83名が当町で過ごした熱い3日間をご報告します。

町内滞在スケジュール

- ◇ 8月3日(土) 町長歓迎挨拶ー町の概要説明ー日本の伝統文化体験 (木坂神楽団による神楽鑑賞・灯籠づくり)ー日本のお祭り体験 (ふれあい戸河内まつり)ー町内2 宿舎へ (泊)
- ◇ 8月4日(日) 町内28のホストファミリー先へ (泊)
- ◇ 8月5日(月) ホストファミリーとのお別れー加計高校生との交流

韓国人学生の感想 (安芸太田町に来て印象的だったこと)

- ・安芸太田町が森林セラピーというエコ観光事業に積極的に取り組んでいることに驚いた。
- ・お祭りに行ったとき、大歓迎を受けたことが嬉しかった。
- ・自然を保全しながら、自然に合わせて生活している様子に感銘を受けた。
- ・都市に人口流出する時代にあって、故郷を愛し、町を積極的に広報する姿勢に感銘を受けた。
- ・学校交流で同世代の友人をつくることが嬉しかった。



ホームステイで感じたこと (たくさんの感想をいただきました。その一部紹介します)

- ・家族のように迎えてもらえ、安芸太田町が第二の故郷になったと感じられた。
- ・日本のお父さん、お母さんが出来たこと。一生仲良くしていきたい。別れるのが本当に辛かった。
- ・バスが見えなくなるまで手を振ってくれたことが忘れられない。
- ・分かれ際、胸が痛くなるほど情が移った。
- ・親切さを肌で感じ、どんな教育を受けたらこんなに親切に出来るようになるのか?と感心した。
- ・ホストファミリーの隣の家の人も来られての交流が都会ではなかなかないので新鮮だった。
- ・ホストファミリーのおばあちゃんが「あなたたちで本当に良かった」と泣いてくれた。
- ・一緒に泊まるはずの学生が体調不良で一人で泊まることになって最初は不安だったけど、すごく良くしてくれたので充実したホームステイになった。一緒に釣りができてうれしかった。
- ・韓国人の言う「情」と日本人の言う「絆」は同じものであると感じた。
- ・思いやりを持って助け合いながら生活している部分を見習いたい。
- ・次の研修団にも必ず安芸太田町のような体験をしてもらいたい。



笑顔と涙のお別れ式を拝見し、韓国人学生の感想を読むにつけて、皆さんの「人情」は国を超え世代を超えて相手に感動を呼び、日本人への印象すら変えることが出来たことに大きな感動を覚えています。

今回ご協力くださった全ての皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。